

第5回グリーフ&ビリーブメント カンファレンス
2014年2月8日(土) 於 関西学院大学大阪梅田キャンパス
山崎浩司先生(信州大学) 講演資料

信州・松本における死別者に支援的なまちづくりの可能性

1. はじめに

- 信州・松本という地域
- 医師である市長：菅谷昭
- 山下恵子先生(松本短期大学)、飯島恵道さん(松本市東昌寺)の取り組み

2. 死別・悲嘆を「社会的な苦しみ」の体験ととらえる

- 『対象喪失』(小此木啓吾)に見られる問題意識
- スコットランドにおける死別者支援
 - 個人の喪失を社会の喪失と捉える
 - 死別者の健康を保持・増進する
 - 死や死別の普遍性を国民の共通認識とする
 - 死別悲嘆を異常(病理)とみなさない：正常悲嘆8割/複雑性悲嘆2割
 - スコットランド政府、NHS Scotland、NPO/市民団体(Cruse Bereavement Care Scotland、Good Life, Good Death, Good Grief等)、医療・福祉が相互補完的に連携 ⇒ 基本方針 *Shaping Bereavement Care* (2011)
- 日本でも死別の仕方にかかわらず死別者支援を社会の責任とするのか？

3. 松本をモデルに死別者に支援的なまちづくりを考える——研究プロジェクト

1) 概要

2) アプローチ——参加型アクションリサーチ

3) 理論的基盤

- ① アラン・ケリヒア(Allan Kellhear)の共感都市(Compassionate Cities)論
 - 健康都市(Healthy Cities) + 共感の倫理
- ② 広井良典の創造的福祉社会論
 - 「多極集中」を基盤とした地域への密着・愛着(帰属意識)と成員間の相互支援的関係の醸成 + 福祉政策と都市政策の統合(福祉都市) = 福祉社会
 - 地域がもつ多様な資源の発掘と活用 + 魅力(アイデンティティのもと)の創出 = 創造的な営み

4) 小冊子『大切な人を亡くしたときの手引』の作成・配布(PDF化も)

- 模範：NHS Scotland 発行の *When Someone has Died: information for you*
 - 一. 実務(死亡届、葬儀・埋葬、臓器提供、献体、遺言書等)
 - 二. ^{グリーフ}悲嘆(どんな気持ちになるのか・どう対処するのか、子どもの^{グリーフ}悲嘆の特徴)

- 三. 情報（相談・支援をする行政部門・窓口、NPO／市民団体、ホームページ）
⇒ 三と対応＋載せきれない情報も掲載したポータルサイトの作成・運営

5) 地域の関連・関心のあるセクターをつなげたネットワークづくり

- 医療・ケア業、葬祭業、行政、宗教、警察・消防等から、死別者支援の取り組みを学ぶ＋『大切な人を亡くしたときの手引』へのフィードバックをもらう

6) 地域の社会資源の特定・整理 ⇒ ポータルサイトで公表

7) 当事者を含む一般市民の関心・ニーズに応え、同時に関連・関心セクターとつなぐ

- ① 講演会の開催
- ② パネル展など当事者が思いを表現できる機会を提供
- ③ ワールドカフェの開催

⇒ 参加者に対する質問紙調査で死別者支援に関するニーズや考えの把握

8) 松本市長『健康寿命延伸都市・松本』との接合の検討

- プライマリー・ヘルス・ケア的な政策
- 共感都市的な視点の欠如
- 実績とデータを踏まえた市長への働きかけ ⇒ 市からの委託事業化？

4. おわりに

課題①：効果をいかに示していくか

課題②：継続的活動のための経済的自立性をいかに確保していくか

<参考文献>

広井良典（2011）『創造的福祉社会——「成長」後の社会構想と人間・地域・価値』筑摩書房（ちくま新書 914）.

Kellehear, A. (2005) *Compassionate Cities: public health and end-of-life care*, Routledge.

小此木啓吾（1979）『対象喪失——悲しむということ』中央公論社（中公新書 557）.

Rice P.L. & Ezzy D. (2007) 『ヘルスリサーチのための質的研究法——その理論と方法』木原雅子・木原正博監訳，三煌社.

The Scottish Government (2011) *Shaping Bereavement Care: a framework for action*,

http://www.sehd.scot.nhs.uk/mels/CEL2011_09.pdf

NHS Scotland (2012) *When Someone has Died: information for you*,

<http://www.hris.org.uk/patient-information/information-about-health-services/bereavement/>

山下恵子・目久田純一・赤沢昌子・飯島恵道・山口裕貴（2014）「悲しみに温かい地域社会を目指した包括的ライフエンディング・サポート活動」『松本短期大学研究紀要』23号， - 頁.

山崎浩司（2012）「死生を支えるコミュニティの開発」『老年精神医学雑誌』23巻10号，1194-1200頁.

<参考 URL>

Cruse Bereavement Care Scotland (<http://www.crusescotland.org.uk/>)

Good Life, Good Death, Good Grief (<http://www.goodlifedeathgrief.org.uk/>)

健康寿命延伸都市・松本

(<http://www.city.matsumoto.nagano.jp/kenko/kenkojumyo/index.html>)